

平成28年8月26日

自動車局整備課

いすゞ自動車(株)製の大型観光バスについて
ショックアブソーバー腐食に関する無料点検を速やかに受けてください

いすゞ自動車株式会社（以下「いすゞ」）は、大型バスのうち、平成4年7月から平成17年8月に製造した観光バスタイプの車両について、ショックアブソーバーの腐食に関し、同社系列の販売店において本日（8月26日）より無料点検を開始しました。

腐食が進行すると最悪の場合、ハンドル操作が不能となりますので、対象車両の使用者は、速やかに無料点検を受けてください。

1. 不具合の内容【別紙1参照】

- 大型観光バスについて、融雪剤を多く使用される地域での走行等により、ショックアブソーバーの取付部が腐食することがあります。適切な点検・整備がなされずにそのまま長期間使用を続けると、腐食が進行してショックアブソーバーが折損する場合があります。特に、フロントショックアブソーバー（右側）が折損すると、ショックアブソーバーが倒れてハンドル操作機構のピニオンシャフトに干渉し、最悪の場合、ハンドル操作が不能となるおそれがあります。
- これまでに、同種事象により高速道路上で2件、一般道路上で1件の物損事故が発生しています。

2. いすゞによる無料点検の内容【別紙2参照】

- いすゞは平成28年8月26日よりサービスキャンペーンを開始し、対象のバスの使用者に対し、ショックアブソーバーの無料点検を呼び掛けています。
- 無料点検の内容は、前輪のショックアブソーバーについては、取り付け部を取り外してスタッドボルト部及びカラーの折損、腐食、減肉を点検するとともに、後輪のショックアブソーバーについては、取り付け部の状態を目視、手感により点検します。
- なお、無料点検の結果、前輪及び後輪共にスタッドボルト部及びカラーに折損や錆による減肉が認められた場合には、ショックアブソーバー又はカラーを交換（有償）することを促します。

3. 国土交通省の対応【別紙3参照】

国土交通省では、本日、関係者（バス事業者等、整備事業者、（独）自動車技術総合機構、各地方運輸局等）に対して、適切な点検整備の速やかな実施、及び所要の対策等の通知を行いました。

○添付資料

- 別紙1 不具合の内容
- 別紙2 いすゞによる無料点検の内容
- 別紙3 国土交通省の対応
- 別紙4 いすゞ自動車(株)製大型観光バスのショックアブソーバー腐食点検について（国自整第151号）
- 別紙5 同上（国自整第151号の2）
- 別紙6 同上（国自整第151号の3）
- 別紙7 同上（国自整第151号の4）
- 別紙8 同上（国自整第151号の5）

＜お問い合わせ先＞

自動車局整備課 平川、玉屋

TEL：03-5253-8589（直通）

FAX：03-5253-1639